

## 第1回 潮来小学校・津知小学校統合等検討委員会会議録

○日 時 : 令和4年9月14日(水) 18:55～20:50

○場 所 : 潮来市役所 3階 第一会議室

○出席者 : 別添名簿のとおり

### ○議事録

司 会 : 定刻となりましたので、「第1回潮来小学校・津知小学校統合等検討委員会」を開催いたします。申し遅れましたが、わたくしは本日の進行役を務めます「学校教育課課長の村田」と申します。よろしく願いいたします。

また、本来であれば本日ご出席いただいている皆様方に対しまして、本市教育委員会横田教育長から直接お一人お一人に「潮来小学校・津知小学校統合等検討委員会委員の委嘱状」をお渡しするところではありますが、お時間の都合上、事前に配付とさせていただきます。ご理解の程、よろしく願いいたします。お名前に誤り等がないかご確認いただければと思います。

(その後、本日配付した資料確認を行う。)

それでは、次第に沿って、進めさせていただきます。

A委員 : すみません。自己紹介の前に一言よろしいでしょうか。

司 会 : はい。どうぞ。

A委員 : 津知小学校後援会B会長とお話をし、今回の委員構成メンバーをみると女性の方が含まれていない。保護者の女性の声を反映するため、今日、2人のPTAから女性の方に来てもらいました。皆様方の了解が得られれば、メンバーに女性の方を入れてはどうかと思いますが、いかがでしょうか。

司 会 : それでは、これからの議事の中で、議題とし取り扱うこととしたいと思いますが、いかがでしょうか。

A委員 : 了解しました。

### 1 自己紹介

司 会 : すでに、顔見知りの方もいるとは思いますが、本日が初めての会議となりますので、自己紹介をお願いできればと思います。

各委員 : (参加者名簿をもとに自己紹介)

事務局 : (自己紹介)

司 会 : ありがとうございます。

### 2 潮来小学校・津知小学校統合等検討委員会について

司 会 : 続きまして、潮来小学校・津知小学校統合等検討委員会について、事務局から説明いたします。

部 長 : それでは、わたくしから今回の統合等検討委員会の目的や設置に至った経緯について申し上げます。

これまで、潮来市教育委員会では、潮来市学校適正化計画等に基づき、令和3年4月1日に大生原小学校と延方小学校の統廃合が実施されました。

その後、計画に沿って津知小学校と潮来小学校の統合等について、両小学校に説明会を実施したところ、統合時期等をはじめ、いろいろなご意見等がありました。教育委員会としましては、その意見等を踏まえまして、丁寧に対応を図ることとしていましたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大等もあり、保護者の皆様方をはじめ、地域の方々などの説明会や意見交換会の開催が困難な状況となりました。

その中でも、昨年度、潮来小学校、津知小学校のPTA役員の皆様方や両教育後援会役員の皆様方と意見交換会等を実施させていただきました。意見交換会の中で感じたことは、両小学校区の皆様方が、将来を担う地域子どもたちにとって、どのような教育環境が必要であり、また、重要であるかを真剣に考えてくださり、地域にとっての学校に対する思いについて、ひしひしと伝わってきたところがございます。教育委員会といたしましても、市内学校適正化実施計画策定会議を開催するなど、いろいろな角度で検討して参りました。結果、適正化実施計画策定会議では、具体的な統合時期等の見合わせをしたところがございます。

そのような中、今まで皆様方からいただいたご意見や本市の児童生徒数の状況等を踏まえ、両教育後援会長や両PTA会長にご説明し、ご相談したところ「小学校ごとに別々協議検討するのではなく、一緒に考えていった方がよいのではないか」とのご提案を受けたところがございます。そして、今日開催となりました「潮来小学校・津知小学校統合等検討委員会」を設けることとなった次第でございます。

詳細等につきましては、担当からご説明いたしますので、本委員会での忌憚のない意見交換等を行っていただき、「地域の皆様方が主体となり、地域にある学校は地域で創り上げていく」といった考え方のもと、教育長に対する最終的なとりまとめとしまして検討委員会からの要望書の提出を含め、ご検討をお願い申し上げます。わたくしからの説明とさせていただきます。

事務局：(資料ページ1・2。潮来市立小中学校統合等検討委員会設置要綱の説明)

第7条第1項で、「検討委員会は議長が招集する」と規定されていますが、今回の検討委員会は初回ということもあり、教育長名により招集をさせていただきました。

司 会：ただいま、事務局から説明等がありました、ご質疑等ある方おりますでしょうか。

各委員：異議なし

司 会：それでは、次に進みたいと思います。

### 3 委員長及び副委員長の選出について

司 会：続きまして、「委員長及び副委員長の選出について」をお諮りいたします。委員長と副委員長の選出について、いかがいたしましょうか。

C委員：事務局一任

司 会：ただいま、「事務局一任」とのご発言がありました、よろしいでしょうか。

各委員：異議なし

司 会：「異議なし」とのご発言がありましたので、それでは事務局案といたしまして、委員長には「津知小学校教育後援会会長B様」、副委員長には「潮来小学校教育後援会会長D様」をご提案したいと思いますが、いかがでしょうか。

各委員：異議なし

司 会：ただいま、「異議なし」とのご発言をいただきました。それでは、「委員長のB様」、「副委員長のD様」、前のお席にお移りいただきたいと思います。  
(委員長、副委員長席移動)

司 会：それでは、「委員長のB様」、「副委員長のD様」から一言ずつご挨拶を頂ければと思います。最初にB委員長、よろしくお願いします。

B委員：改めまして、こんばんは。本日はお忙しいところ、多数ご出席いただき、大変、ありがとうございます。委員長を仰せつかりました「津知小学校教育後援会会長のB」と申します。よろしくお願いいたします。微力ではありますが、子どもたちへの充実した教育環境づくりについて、皆様方とともに築き上げていきたいと思っておりますので、ご協力ご理解をいただき、簡単ではありますが、ご挨拶に代えさせていただきます。よろしくお願いいたします。

司 会：ありがとうございます。続きまして、「副委員長のD様」、よろしくお願いいたします。

D委員：改めまして、こんばんは。副委員長を仰せつかりました「D」と申します。潮来小学校教育後援会会長ですが、津知小学校教育後援会と少し組織が違っていて、潮来小学校教育後援会が潮来小学校PTA役員を兼務というスタイルが、ここ数年続いています。私は、通算で小学校のPTAを15年くらい務めまして、現在のPTA会長の前任を務めさせていただきました。今、潮来一中のPTAも務めています。

この統合に関しても、先ほど、教育部長からお話がありましたが、「この委員会で皆様方の考え方のもと、要望書として教育長に提出していただきたい」とのことでしたので、この検討委員会で決めて、「行政が勝手に決めた」ということではなく、「地域の方々が自分たちの考えで、よりよい潮来の子どもたちの教育環境を創っていく」という考え方のもと、進めていきたいと思っておりますので、どうぞ皆様、よろしくお願いいたします。

司 会：ありがとうございます。

#### 4 教育長あいさつ

司 会：続きまして、教育委員会を代表いたしまして、「教育長横田直樹」からご挨拶申し上げます。

教育長：改めまして、こんばんは。「地域の皆様とともに今後の新しい潮来の学校を創る」ということで、皆様方のお知恵をお借りいたしまして、教育委員会としましても潮来小学校と津知小学校の子どもたちが「夢をもって、そして大きな希望をもって通える学校づくり」を願いつつ、その考えのもと、教育委員会として本計画を推進して参りました。

本来であれば、コロナ禍でなければ、すでに潮来小学校と津知小学校の統合は完了していたところでしたが、コロナ禍の中で、「無理に事を進めることが、必ずしも成功に結び付かないのではないか」という考え方のもと、本日までこの会議開催を控えて参った次第です。コロナの方も完全に終息している訳ではありませんが、皆様方のお力をお借りしながら、新たな学校づくりを目指して参りたいと考えております。教育委員会としまして、精一杯、皆様方の対応等を図って参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 5 議 事

司 会：それでは、本日の議題へと移りたいと思います。これからの議事進行につきましては、潮来市立小中学校統合等検討委員会設置要綱第7条第1項の規定に基づき「検討委員会は、委員長が招集し、その議長となる」と規定がありますので、「委員長のB様」にお願いしたいと思います。「B委員長」よろしくお願いします。

議 長：それでは、ご指名ですので、しばしの間、議事進行を務めさせていただきます。何分、不慣れではありますので、皆様方のご協力の程、よろしくお願いいたします。また、潮来市立小中学校統合等検討委員会設置要綱第7条第2項の規定に基づき、委員14名中、本日の参加委員が14名であり、委員の過半数が出席しておりますので、本委員会が成立していることをここで報告します

それでは、議題に移ります。第1号「潮来市学校適正化計画等の進捗状況について」を議題とします。事務局から説明願います。

事務局：(資料ページ3～7を説明)

○潮来小学校・津知小学校の統合等に関する進捗状況について(3ページ)

○潮来市学校適正化計画等の現状について(4ページ)

○潮来市学校適正化実施計画等に関する回答(案)について(5ページ)

○小中学校統合等による課題と効果等について(6・7ページ)等

事務局といたしましては、ただいま皆様方にご説明させていただいたことについて、皆様方の意見等を踏まえ、整理、検討等を図って参りたいと考えております。

議 長：ただいま、事務局から説明がありました。委員の中で、ご質問等があれば、挙手にてお願いします。

E委員：(挙手)

議 長：E委員

E委員：茨城県内において、義務教育学校や小中一貫校について進められているようだが今後、潮来市としては進めないのか。

議 長：ただいま、E委員からご質問がありました。事務局から回答願います

事務局：義務教育学校や小中一貫校について、県内で進められている状況は承知しています。本市においては、児童生徒数の減少もあり、中学校の統合等を含め、検討しなければならぬものと考えています。そのため、来年度に潮来市学校適正化計画の改訂を予定していますので、その中で、しっかりと潮来市にあった教育環境等がどのようなものなのか、先進事例等を含め、検討をしていきたいと考えており

ます。

議長：ただいま、事務局から説明がありました。E委員よろしいでしょうか。

E委員：了解しました。

議長：その他、委員の皆様方の中で、ご質問等ありますでしょうか。

議長：質問等がないようなので、第1号議案につきまして、承認することよろしいでしょうか。

各委員：異議なし

議長：「異議なし」と認め、第1号議案が承認されました。

議長：それでは、次の議題に移ります。第2号「本市の出生推計等について」を事務局から説明願います。

事務局：(資料8・9ページを説明)

○潮来市の出生推計（8ページ）

本市の出生届の数によりとりまとめたものとなります。

平成27年度～平成29年度（3年間）の出生合計数は「567人（3年間の平均189人）」、令和元年度から令和3年度は「378人（3年間平均126人）」であり、平成27年度～平成29年度と令和元年度～令和3年度の出生数を比較すると「189人の減少（3割減）」「3年間の平均63人の減」となっています。

令和10年度の出生した子どもが小学校入学するときは、本市の全ての小学校において単学級になるおそれがあります。

○潮来市児童数及び小学校の規模の推計（9ページ）

左側の表は「学校適正化計画の児童数の推計値」となります。右側の表は「平成29年度から令和4年度までの学校基本調査での児童数の実人数」となります。また、右側の表の「令和5年度から令和10年度までの児童数は、本市の出生数を基に推計値を見直したもの」となります。

なお、右側の表において、現行の学校適正化計画の推計値より「増加したものは赤色」「減少したものは青色」とし、「着色がないものは増減なし」となっています。

推計値の見直しを図った右側の表において、津知小学校では「令和11年度」に「2年生が7名」「3年生が7名」となり、2年生と3年生の児童数の合計が「14名」となることから、このまま推移しますと学級編成基準により「複式学級」となることとなります。

議長：ただいま、事務局から説明がありました。委員の中で、ご質問等があれば、挙手にてお願いします。

各委員：なし

議長：特に無いようですので、よろしいでしょうか。第2号議案について承認することにご異議ありませんか。

各委員：異議なし

議長：第2号議案について承認されました。

それでは、次の議題に移ります。第3号「今後の進め方について」を事務局から

説明願います。

事務局：(検討委員会予定表を説明)

事務局としましては、今までにご説明しましたことについて皆様方と情報共有等を図りながら、「どのような学校を創っていくか」ということを年内あたりを目安に要望書(案)の作成をいただければと思っております。

本日、皆様方にお示しした資料等については、市HP等において、数値的な部分を含め、公表していきたいと考えております。

また、必要があれば、皆様方の団体に出向き、ご説明にお伺いすることも考えておりますので、その際は、事務局へご連絡いただければと思います。

皆様方の各団体においても、いろいろと準備等をはじめ、各団体での検討する時間等も必要であると思っております。次回の開催については、委員長及び副委員長と適正な時期に開催できるよう調整を図って参りたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

議長：ただいま、事務局から説明がありました。委員の中で、ご質問等があれば、挙手にて願ひします。今後の進め方について、非常に重要なことと思っておりますので、忌憚のないご意見をいただければと思います。

F委員：(挙手)

議長：F委員

F委員：いろいろと今、事務局から説明を聞いたが、この委員会の開催予定も今後決めていくと思うが、肝心の「いつ両校の統合を行うのか」を決めるべきではないかと思ひます。そこに向かつて、いろいろな問題点について、整理、解決していくべきではないか。これだけ全国的にいろいろなところで統合が進んでいる中で、少子化等により潮来小学校においても、わたしたちの時よりも児童数が3分の1程度になってきている。更に子どもたちも減っている。学校の運営としても、厳しくなっているものと思ひます。これは潮来市に限ったことでもない。近隣市においても、以前は子どもの数は多かったが、現在は児童数が減ってきている。ここは、統合する目安の時期について、決めておくべきだと思ひますがいかがでしょうか。

議長：ただいま、ご意見をいただいた。その他、ご意見等がありますか。

G委員：(挙手)

議長：G委員

G委員：今、F委員から発言がありましたが、潮来市学校適正化実施計画にある2024年度を潮来小学校と津知小学校の統合する時期として言っているのか確認をしたい。それと統合等検討委員会予定表にある「学校関係者での検討、協議等」は、どのような内容を考えているのか。をお聞きしたい。

議長：事務局、説明願ひます。

事務局：2024年度までに両校を統合するというを事務局として求めているものではありません。この統合等検討委員会で「現状等を踏まえ適正な時期に両校が統合できるよう決めていく場」として考えております。そのため、「学校適正化実施計画ありき」ではありません。先ほど、両校の児童数の推移をご説明しましたが、この状況で「どのようにしていくか」また「地域の子どものため、どのよう

にして行くことがいいのか」を皆様方と一緒に考えていきたいと思っております。

それが適正な時期かということについては、いろいろな考え方がありますので、それを皆様方の所属する団体の中において、検討、協議等を行っていただきたいと思っております。また、皆様方の団体において、役割等もいろいろあると思っております。それを1つ1つ整理検討していきながら、要望書といった形にし、教育委員会としましても地域のご意見を具現化できるよう努めて参りたいと考えております。

議長：ただいま、事務局から回答がありました。G委員、よろしいでしょうか。

G委員：これまでの進捗状況を見ますとPTA役員や教育後援会役員の意見等ばかりで、「お母さんたちの貴重な意見が取り入れていないのではないか」という気がするので、そこら辺につきましては、十分踏まえて対応をしていって欲しいと思っております。

議長：貴重なご意見ありがとうございます。ただいま、ありましたお母さんの意見については、冒頭、本委員会メンバーに女性の方がいないため、追加提案が出されております。その件については、第4号「その他」の中で、協議していきたいと思っておりますので、ご理解の程、よろしく申し上げます。

議長：その他、ありますでしょうか。

H委員：(挙手)

議長：H委員

H委員：この委員会に参加させていただき、ありがとうございます。事務局からいろいろなことをご説明いただきました。その中で、お子さんをもつ親御さんたちの気持ちたちが今どのようになっているのか。生の声が聴けたらと思っておりますがどうでしょうか。

議長：それでは、両校のPTA副会長にお聞きしたいと思います。津知小学校からお願いします。

I委員：私は、6年生と3年生の子どもがいます。わたしも津知小学校出身です。この推計値をみると正直、統合する方向で検討していいのではないかと個人的には思います。統合等により、子どもたちの環境等がいろいろと変ることにより、心の変化もあると思うので、事務局から説明があったがスクールカウンセラーなどの専門家による対応等を図ってほしいと思っております。

議長：続きまして、潮来小学校のJ委員をお願いします。

J委員：わたしには、5年生と1年生がいます。このまま統合になったとしても、上の子は中学校になっているのではないかと思います。下の子が津知小学校の子どもたちと一緒にいるのかなと思います。潮来小学校も児童数の減少があり、この状況下では、どこかで統合はしなければならないと思います。目に見える数値にも出ている。先に意見もありましたが、学校が成り立たなくなってしまうのではないかと思います。統合等について子どもたちは、まだ分かっていないのかなと思う。分かるまでにはもう少し時間が必要なのではないかと思います。また、統合等による子どもたちの心や環境等の不安を取り除くため、スクールカウンセラーなどの対応が必要になってくるのではないかと思います。

議長：続きまして、C委員をお願いします。

C委員：潮来小学校に2年生の子どもがいます。PTAを通算で7年やっているが、2年生

であるため、あと4年ほどある。うちの子どもは統合に向けて反応がある訳ではないが、親からも「統合するかも」などのことも言ってはいない。親の気持ちとしては、子どもの教育環境が良くなるのであればいいと思う。

あとは「いつぐらいに統合できるのか」など、正直、決まった方が調整等しやすいのではないかと思う。

議長：今、3名の方にお話しを伺った。H委員いかがでしょうか。

H委員：ありがとうございます。大変、参考になりました。

議長：最初にF委員から「統合時期の目安を定めるべきではないか」とのご意見がありました。委員の皆様方、いかがでしょうか。

A委員：(挙手)

議長：A委員

A委員：津知小学校の児童数の推計をみると「令和8年4月1日」が統合スタートとした方が、適正な時期ではないかと思えます。それより前だと期間的に難しく、それより後だと新入生が一桁になってしまい「複式学級」がみえてしまう。そのため「令和8年4月1日」がいいのではないかと思えます。

議長：ただいま、A委員から提案がありました。他委員の方々は、いかがでしょうか。F委員はいかがですか。

F委員：津知小学校の令和9年度、令和10年度の新入学児童数の減り方をみると、令和9年度、令和10年度の前の方がいいのではないかと思う。潮来市の統合等について、以前、意見交換会等の説明の中で「統合する前から統合する先の学校に児童が移りはじめた」とのことを聞いたので、それだと推計よりも児童数の減り方が早まる可能性があるのではないかと思う。いろいろな部分で教育環境整備等の準備等もあると思うので、3年程度時間があれば、統合準備委員会での準備等もその期間で対応が図れるのではないかと思う。

議長：その他、委員の中でご意見等ありますでしょうか。2名の委員からご提案がありました統合時期の目安について、「令和8年4月1日」とすることにご意見等ございますでしょうか。

議長：無いようですので、目安として「令和8年4月1日」とすることに、ご異議ございませんか。

各委員：異議なし

議長：「異議なし」と認め、統合時期の目安を「令和8年4月1日」として、統合等検討委員会では、今後、進めていきたいと思えます。

議長：続きまして、第4号「その他」に移ります。冒頭、A委員から女性委員の追加について提案がありました。その件について、事務局から何かありますか。

事務局：潮来市立小中学校統合等検討委員会設置要綱第3条第2項の規定において、学校ごと10名程度となっておりますので、その範囲内であれば特に問題はないと考えています。

議長：ただいま、事務局から意見等をお伺いしました。委員の中でご意見等ありますでしょうか。

委員：異議なし

議 長：女性メンバーの人数についてはいかがいたしますか。設置要綱において、各学校区で10名以内ということなので、委員の追加を1名又は2名としたいと思いますが、事務局の方ではどうですか。

事務局：潮来小学校と津知小学校2名ずつでいかがでしょうか。

議 長：ただいま、事務局の方で、両小学校2名ずつの女性メンバーの追加という提案がありました。また、次回の統合等検討委員会から参加とすることで、委員の皆様方いかがでしょうか。

委 員：異議なし。

議 長：次回から女性メンバーを追加したいと思います。その他、委員の皆様方から何かありますのでしょうか。わたくしからは、次回までに皆様方の団体の中で、今回の統合等について、協議検討していただき、ご意見等について、とりまとめていただきたいと思いますので、よろしく願います。その他、何かありますでしょうか。

D委員：(挙手)

議 長：D委員

D委員：先ほど、統合時期について「令和8年4月1日」として目安を定めたが、これはあくまでも「目安」ということで理解してよろしいのか。それとも「何が何でも令和8年4月1日に統合する」ということなのか。例えば、準備等が早くできたので、1年早くなり「令和7年4月1日」ということもあり得るのか。また、コロナの状況等や不測の事態により目安より1年遅れることもよしとするのか。

議 長：だいたい、D委員から質問がありました。事務局から回答をお願いします。

事務局：この統合等検討委員会で委員の皆様方により「令和8年4月1日を統合の目安」として、定められたことにつきましては、事務局として尊重させていただきたいと思えます。ただし、何がなんでも「令和8年4月1日に統合する」といった意味ではないものと考えています。

議 長：ただいま、事務局から説明がありました。「目安」ということでよろしいでしょうか。

各委員：異議なし

議 長：あくまでも「目安」ということで、ご理解の程、よろしく願います。

その他、委員の皆様方の中にありますか。

A委員：津知小学校や潮来小学校の保護者から「統合ってどうなっているの」と聞かれた場合に、本日、決定されました統合時期の目安である「令和8年4月1日」について、答えていいのか。そのうえで、保護者の皆様方と検討協議等について、進めていいのか。

議 長：A委員からご質問がありました。事務局から回答をお願いします。

事務局：今日の会議については、HP等により発信していく方向であります。そのため、皆様方の団体であるPTA、教育後援会、区長会等においても「こういう話し合いがされた」ということで、進めていただければと事務局では考えております。ただし、皆様方の中で「公表しない方がいい」ということであれば、事務局といたしましても対応等を変えていかなければと考えています。

部 長：議長、よろしいでしょうか。

議 長：教育部長

部 長：この「令和8年4月1日」につきましては「目安」であり、「決定」ではない旨のことを各団体の皆様方には、伝えていただきたいと思います。

議 長：ただいま、事務局から説明がありました。「令和8年4月1日」については「決定」ではなく、あくまでも「目安」ということでよろしいでしょうか。

各委員：異議なし

議 長：「異議なし」と認め、「令和8年4月1日」については「目安」ということで、統合等検討委員会では統一したいと思います。その他、何かありますか。

D委員：(挙手)

議 長：D委員

D委員：各学校の保護者の方々から、いろいろ聞かれることがあると思う。「令和8年4月1日を目安」ということが聞ければ、保護者の方々は安心するし、お母さんたちは、それ相応に準備等もできる。その次に「なんで」ということになる。推計値にもあるが、「津知小学校の児童数が100人を切り、新入生が一桁になる」ということを伝えられれば、保護者の皆様方も理解を示していただけるのではないかと思います。

議 長：ただいま、D委員からもありました。聞かれた場合に、そのようにお伝えしていただければと思います。他にありますか。

D委員：(挙手)

議 長：D委員

D委員：「傍聴したい」という人は、どうするのか。

議 長：ただいま、D委員から質問がありました。事務局から回答願います。

事務局：できるだけオープンにしていきたいと考えています。ただし、この統合等検討委員会については、「皆様方が主役」ので、皆様方で検討決定していただければと思います。

議 長：ただいま、事務局から回答がありました。傍聴人についての発言はいかがなものかということもありますが、事務局の方ではいかがでしょうか。

事務局：あくまで皆様方の委員会ですので、傍聴人からの発言はいかがなものかと思えます。ご発言は委員の皆様でという考えです。

議 長：ただいま、事務局から回答がありました。「傍聴については認め、発言については慎む」こととして対応を図って参りたいと思いますが、いかがでしょうか。

各委員：異議なし

議 長：「異議なし」と認めます。皆様方の団体等におきましても「傍聴は可能」として伝えてください。その他、何かありますか。

F委員：(挙手)

議 長：F委員

F委員：今日、校長先生もご出席いただいております。これだけ他の地区でも学校の統廃合が進んでいるが、校長先生が実際に統合後の学校を目で見た又は体験した中で、統合された学校で良い面や悪い面の事例はありましたか。

議 長：最初にK校長先生お願いします。

K委員：統合後の学校に赴任したことないが、以前勤務していた小学校では、全校児童が60名程であり、小規模校でありましたが、とてもよい小学校でした。統合計画に基づき、私が潮来小学校に赴任した令和3年度に、その学校を含め3つの小学校を1つの小学校に統合されました。統合後に、教職員に児童の様子を聞いたところ「子どもたちは、友達も増え楽しく学校生活を送っている」ということでした。そのため、統合等については、メリットの方が多かったと感じている。

議 長：ありがとうございます。続いて、M校長先生お願いします。

M委員：自分も統合の学校について経験がない。ただ、日の出中学校が建設されたとき、潮来一中に勤務していた。当時、潮来一中は7クラスあり、日の出中学校が建設されたことにより、潮来一中が4クラス、日の出中が3クラスになったと記憶している。適正規模になったことにより、生徒とのかかわりが増えたように感じている。また、同僚の先生などにおいては、児童生徒の人数が少ないより、統合により児童生徒数が増えたことで、授業や学校行事等を行う際に、学校の活性化が図れたということを知っている。ただ、統合により複数の学校が集まることにより、「おらが学校」という意識が薄れるため、保護者や地域の方々の意見調整などの際に、時間がかかるということを知ったことがある。今回、この潮来小学校と津知小学校統合等検討委員会に参加してみて、参加していただいている方々が前向きな意見が交わされている状況であるため、実際に統合になった際には、よいスタートが切れる学校になるのではないかなと思う。私が现阶段で感じたことは、両校が統合することでメリットの方が大きいのではないかなと思います。

議 長：ありがとうございます。F委員よろしいでしょうか。

F委員：ありがとうございます。

議 長：その他、何かありますか。

各委員：なし

議 長：事務局から何かありますか。

事務局：なし

議 長：それでは、本日提出された議題は、すべて終了しました。慎重審議ありがとうございました。皆様方のご協力によりスムーズな議事進行ができました。

以上をもちまして、本日の議長職を解かさせていただきます。

司 会：B委員長、ありがとうございます。その他、皆様や事務局から何かありますか。

事務局：それでは、事務局から次回の日程につきましては、委員長、副委員長と相談のうえ、調整を図って参りたいと思いますので、よろしく願いいたします。

司 会：ただいま、事務局から次回の開催について、「委員長、副委員長と相談のうえ、調整を図る」とのことですので、よろしく願いいたします。

今回の内容等については、市HPや広報紙等にも掲載する予定であります。皆様方の関係団体におきましても、今回の情報共有等を図っていただきながら、団体内等での検討をしていただき、本検討委員会で協議、調整していきたいと考えておりますので、今後とも、よろしく願いいたします。

また、両小学校の2名ずつの女性委員の選出につきましては、後日、事務局から

両小学校教育後援会又はPTAにご依頼させていただきますので、ご協力の程、よろしく申し上げます。

それでは、本日は、長時間にわたり、慎重審議、ありがとうございました。

以上をもちまして、「第1回潮来小学校・津知小学校統合等検討委員会」を終了させていただきます。